

目次

| | | |
|-----|-------------------|----|
| 第一章 | 姿を現した青谷上寺地遺跡…………… | 1 |
| | 甦った港湾集落の姿…………… | 2 |
| | 遺跡の姿を探る発掘調査…………… | 4 |
| | 発見された遺構…………… | 6 |
| | 千年にわたる歴史…………… | 8 |
| | 古代の土木遺産…………… | 10 |
| 第二章 | 道具と生業…………… | 11 |
| | 山の幸…………… | 12 |
| | 海の幸…………… | 14 |
| | 農耕…………… | 16 |
| | 建築…………… | 18 |
| | 占いと祈り…………… | 20 |
| 第三章 | 交易とものづくり…………… | 21 |
| | ①玉と鉄を巡る交易…………… | 22 |
| | ②勒島遺跡との交易…………… | 24 |
| | ③花卉高杯を巡る交易…………… | 25 |
| | 精製容器と粗製容器…………… | 26 |
| | 匠の技を支えた道具…………… | 27 |
| | さまざまな交流…………… | 28 |
| | 船…………… | 29 |
| | 殺傷人骨の謎…………… | 30 |
| | 武器・武具と戦い…………… | 31 |
| コラム | 青谷上寺地遺跡の絵…………… | 32 |
| 終章 | 青谷上寺地遺跡のこれから…………… | 33 |

【例言】

本書は、青谷上寺地遺跡の特質と魅力をわかりやすく解説するために作成した図録である。

本書で言及した調査成果や遺物の出土点数等は、平成二八（二〇一六）年度に実施した第一七次調査までのデータに基づく。

本書で使用した写真・図表は、キャプションにことわりがない限り、すべて鳥取県埋蔵文化財センター所蔵・作成である。

本書の性格上、個々の出典は明示していないが、執筆にあたっては多くの先学の研究成果を参照した。

本書の執筆・編集は君嶋俊行（鳥取県埋蔵文化財センター）が担当した。

本書の作成にあたり、以下の個人・機関に図版の提供等の御協力をいただいた。

井上貴央 野島永

財団法人東亜細亜文化財研究院

東亜大学校石堂博物館

財団法人三江文化財研究院

鳥取県立むきばんだ史跡公園

表紙写真／下から見た花卉高杯、勾玉

裏表紙イラスト／下から見た脚付壺



空から見た青谷平野（北東上空から）